

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		大きな行事やレクは、きちんと準備をして行うことができているが、日常のレクレーションの実施となると、まだまだ不十分だと感じる。生活にメリハリが出るように、利用者の活動度を上げていきたい。	レクレーションの充実 ・毎日、外に出る！ ・利用者と一緒に動くことを大切にする！	・散歩を日課として取り入れる ・好天日は、日向ぼっこの実施 ・家事に利用者を誘い、一緒に行う ・利用者の好きなレクレーションを企画・実施 ・ちょっとしたことで利用者に声をかけ、一緒に行うことで、利用者の活動度をあげ、関わりの機会を増やしていく。	12ヶ月
2		現状では、ベテラン職員の判断・指示で業務が進んでいる。新人職員も在職年数が増えてきているので、職員各々がきちんと状況を判断し、連携して業務を行っていけるようにしていきたい。	チームワークの強化 ・報告、連絡、相談の徹底 ・各自の責任感と協力体制の構築	・担当業務の振り分け見直し ・各自の認識を改める ・業務手順の再確認	12ヶ月
3		夏祭り、もちつきは定着して、ご近所の認知度も上がってきている。次は、もう一歩進んで、認知症や介護に関する情報を発信し、地域の気軽な相談窓口としての役割も持っていきたい。	地域との交流の継続・発展 ・これまでの取り組みの継続に加えて、カフェの開催を目指す。	・これまで継続している行事の開催時に、認知症啓発の話をする時間を組み込む。 ・カフェ(年2回・春、秋)を開催する。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。